



# 近畿支部会報

2023年6月 支部長

京都では、5月29日に梅雨入りをしました。平年よりも8日早く昨年に比べ16日早い梅雨入りだそうです。スペインからのトラベラーは、梅雨時期を知らずに日本を訪れて雨を体験しました。これも日本の思い出と言ってくれていました。今年の京都市内は観光客が戻ってきている印象で、電車・バスにたくさんの方が乗られていました。

アメリカのニューヨーク・タイムズが「[2023年に行くべき街52選](#)」の1位にロンドンテムズ川南岸に巨大複合施設としてリニューアルオープンした「バタシー発電所」や、開通したばかりのエリザベスライン、チャールズ国王の戴冠式、新しくできたクラブ「The Beams」のニューオープンなど、今年注目のイベントや新施設を紹介。一方、第2位に岩手県盛岡市「大正時代に建てられた和洋折衷の建築物が街中に残る歩きやすい街、東京からも新幹線ですぐ」と評価しました。焼き鳥やラーメン、おでんといった料理が楽しめると紹介しています。また、19位には福岡市が取り上げられました。みなさんは、どこに行きたいですか？



今回の会報は、次の内容でお届けします。

- 1.例会報告 Online(Zoom) ～Liさんと～・・・久御山町 A.K
- 2.トラベラー受け入れ報告～Li～
  - Liさんを迎えて・・・草津市 N.N
  - Liはとても楽しい人でした！・・・東海北陸支部 N.S
  - Liさんを受け入れて・・・舞鶴市 K.Y
  - Liさんを迎えて・・・久御山町 A.K
  - 久しぶりの再会・・・京都市 H.T
  - 知的で楽しく素敵なL・・・京都市 W.H
- 3.その他のトラベラー受け入れ報告
  - イタリアからこんにちは・・・京都市 H.T
  - ディホストをしました・・・堺市 O.N
  - AlとPeを迎えて・・・久御山町 A.K
  - ミラクルピサンカ・・・京都市 H.T
  - 久しぶりのトラベラー・・・/和歌山市 O.I
- 4.講演会参加報告
  - DVD「沖縄、再び戦場へ」を見ました・・・京都市 H.T
- 5.お知らせとお願い・・・支部長

## 1.例会報告 Online(Zoom) ～Liさんと～

久御山町 A.K

日時：2023年5月4日16時～

参加者：ゲスト1名・東海北陸支部1名・近畿支部5名  
(合計7名)

Liさんは、ブラジル生まれでドイツ在住の女性です。来日予定のLiさんに近畿支部例会をZoomオンラインでしたいとお願いしたところ、快く引き受けてくださり、「日本語の勉強がしたいので日本語でします。」との返事がありました。日本では4/26から5/12まで7家庭にステイしながら過ごしました。京都市内の日本語学校に5/8から5日間通いました。



来日中のLiさんとのOnline例会は参加者のみなさんの自己紹介から和やかに始まりました。Obさんは、宇治散策を一緒にしながら抹茶大好きなLiさんと平等院に行きました。Kuさんは、舞鶴在住で外国人にとっても興味があるそうです。Koさんは、ディホストとして奈良市内散策の約束をされていました。Maさんは製薬会社に勤めているLiさんに自身の体験談を話されていました。Naさんは、ホストされた時の様子を動画で紹介してくださいました。また、トラベラーにお料理のリクエストをされるそうです。我が家に来られた時は、久御山日本語教室に参加してもらい、一緒に勉強しました。お友達とのディナーの時は、デザートを作ってもらいました。

Liさんは、話の中で日本文化にとっても興味があることがよくわかりました。日本語を聞いては、「これは何ですか?」「これは何と言いますか?」と、メモを取ったり、Googleで調べたりして関心の高さに驚かされました。ホストをされたみなさんからは、その時の様子を紹介していただきました。

今回、Zoomシステムが前回より変わっていて、2回目に入るのに数分かかるというアナウンスがありました。初めての事でみなさまには大変混乱させてしまいました。

### ドイツに戻ったLiさんより

週末は家族と一緒に過ごすつもりです。お世話をしてくれてありがとうございます! 皆さんとの3週間の旅行は素晴らしかったです。ドイツで皆さんにお会いできるのを待っています!!!

またね👋😊🌟

Li



## 2. トラベラー受け入れ報告～Li～

Liさんを迎えて

4月27日お昼前、南草津駅で待ち合わせました。ノープランの私たち、近くのSuさんのお宅を訪ねることにしました。ランチを楽しんだ後、Suさんの案内でここは大津だろうかと思うようなステキな自給自足の生活をされているご家族を訪ねたり、放し飼いの馬やポニーをみたり、お茶室でお茶体験をしたり、なんとも充実した半日をすごしました。琵琶湖がみたいとのことだったので、瀬田川にそって琵琶湖へ。なぎさ浜を歩き、ちょうど仕事を終えた夫と合流。夫とLiさんはZoomで日本語を学び合っています。初めての対面に喜び合っていました。夜は、帰省しリモートワーク中だった長男も仕事を終えて加わり、にぎやかな食卓でした。



翌日は、全員仕事でLiさんは姫路へ。一番に帰ってきたのはLiさんで留守番をお願いしました。餃子も作ったり焼いたりして下さり、すっかり家族の一員でした(^)/

この日の夜は長男の彼女が遊びに来てくれ、若い二人のための英語タイムあり、日本語タイムありで、時間がたつのがあっという間でした。

三日目、次のNaさん宅への移動に便乗して、私たちも三重まで小旅行を楽しみました。思いがけずNaさんのお宅にお邪魔し、一緒に温泉にも行き、サーバスの方は本当に懐が深いというか、垣根がないというか、オープンマインドだと改めて思いました。長男たちにもその良さが伝わる絶好の機会だったと思います。

行動的で、探求心のかたまりのようなLiさん、その日本語のテキストをみせてもらったとき、私たちが好きなことをコツコツと積み重ねていく力をもらったような気がしました。

色々経験させてもらいましたが、とにかく「楽しかった～！」のひと言につきます(\*^~\*)

### Liはとても楽しい人でした！

#### 東海北陸支部 N.S

4月27日、28日受け入れました。ドイツから来られたブラジル人ですが、まさに陽気なブラジル人でマルチリンガリスト！お料理も上手！28日は彼女の滞在期間に合わせて、私たちが押し活をしている若きピアニスト It 君の家族や近所の人たちも招いて、ランチタイムコンサートを開きました。彼女にも得意の料理を披露してもらい、皆が彼女のおいしい料理に舌鼓を打ちました。ギリシャ料理のムサカとブラジル料理のフランです。その後作り方も習い、次のサーバスゲストにも披露したら大好評でした。



It 君のクラシックの演奏を聴いた後、皆のリク

エスト曲も弾いてもらい、Li のリクエストでボサノバやサンバも即興で弾いてくれ、Liからはサンバの踊りを習い、皆で踊って楽しみまし

た。

そのあと浴衣を着つけると Li は大喜び。近所の人ともすぐに打ち解け人気者でした。

## Li さんを受け入れて

舞鶴市 K.Y

5月1日～3日、Li さんを受け入れました。

1日 14:00 ぐらいに東舞鶴駅に到着されました。サングラスをし、旅慣れた服装で、感じのいい女性でした。私家でちょっと休憩していただいて、15:30 から、以前サーバスの会員だった Sa さんの家に出掛けました。突然の訪問にもかかわらず、にこやかに私達を迎えて下さり、しばらく Li さん、Sa さん、Sa さんの奥さんとテーブルを囲み、談笑しました。Li さんは日本語の教科書を見せてくれたり、Sa さんはこれまでサーバスで受け入れてきた人の話をしたりしました。お孫さんがお琴を習っておられて、お琴の演奏をしてくれました。”花は咲く”を弾いてくれました。Sa さん宅から戻って、夕飯は鶏肉のワイン煮込みを作りました。Li さん「これは日本の料理ではないですね？」と言われましたが、美味しいと言っていただきました。



次の日は快晴、行楽日和でした。天橋立へ Li さんと二人で車で出掛けました。道中の海岸線の海的美しさに Li さんは感激されていました。晴れて、気持ちがいい気候なので、天橋立の松林（片道約 3.6 キロ）を歩くことにしました。松林の砂浜や海がとてもきれいなので、沢山写真を撮っていられました。リフトで展望台へ行き、展望台からの眺めも最高でした。昼食にと思っていたうどん屋がいっぱいだったので、違う食堂に入ってみました。Li さんが店員さんに「外で食べたい」と言うと、店員さんが「いいですよ」と中庭に案内してくれました。中庭があったとは、私もびっくりしました。草や花がいっぱい



植えてある自然いっぱいの中庭で、定食と Li さんはビール、私はノンアルコールビールで乾杯。気持ちよかったです。帰りも 3.6 キロを歩いて戻りました。Li さんが砂浜ばかり歩くので、ついていくのが大変でした。そのあと、温泉に浸かり、極楽でした。夜は、晩御飯を作る時間も気力もなく、スーパーでお寿司を買いました。食後は、私の主人がアコーディオンを弾いたり、バルーンアートで、お花や動物を作ってみせたりしました。Li さんがブラジルのサンバを教えてくれて、音楽に合わせて、3人で踊りました。とても楽しいひと時でした。

Li さんは、聡明で、何か国語もしゃべれて、色んな国を旅し、スケールが違うなーと感じました。

## Li さんを迎えて

久御山町 A.K

4月24日 Suさんから連絡があり、急遽私たちがホストをすることになりました。ドイツから関空着後高速京田辺へバスで来て、バスを降りたところを迎えに行きました。その日は、フランスからのトラベラーMaさんとRaさんも一緒にディナーをいただきました。

26日は流橋までお散歩しました。そして、私たちがボランティアをしている久御山日本語教室に参加しました。とても語学に興味があり、家に置いてある日本語の本を読んで夫に質問をしていました。次の日は、JRでNiさんと待ち合わせの駅に移動しました。

5月5日 0bさんのお家の近くまでお迎えに行きました。四国八十八カ所のお遍路の旅を終えて、5月10日帰国予定のPeさんと一緒に近くのベーカリーショップでランチをしました。その後、石清水八幡宮を散しました。片道をケーブルカーに乗ろうと思ったのですが、二人とも歩くのは大丈夫だからと往復とも歩きました。夜はお友達とお好み焼きを作って食べました。四国八十八カ所のお遍路の旅の話聞きながら、Peさんの写真を見ました。Liさんは次の日のディナーのデザートを作ってくれました。



6日 KoさんがLiさんとPeさんの奈良市内散策のディホストをしてくださいました。興福寺、東大寺から春日大社と歩いていました。一緒にランチをして楽しく過ごしたそうです。帰宅後、私のお友達とディナーをしたときに、デザートを出してくれました。



7日はKoさんのローズガーデンへ行きました。途中クローバー牧場でジェラードを買って持って行きました。サンドイッチランチをごちそうになり、とても見事に手入れされて咲いているバラを見ました。Koさんに質問をしていました。夕方、Hiさん宅に送って行きました。

## 久しぶりの再会

京都市 H.T

ドイツのLiさんが近畿のみの3週間の旅で、5月7、8日に我が家に来られました。Liさんは2019年にも来られて、その時も京都市の日本語学校で日本語の勉強でした。今回お会いしてびっくりしたのは、日本語がとてもお上手になっていられることでした。Liさんは何カ国語もおできになる言語の達人、コロナ禍で外国との往来が制限されているときは、近畿支部の会員NiさんとOnlineで日本語学習を楽しんでいられました。

7日の夕食は大津の会員 Suさんとご近所のご夫婦が来てくださり、にぎやかで楽しい食事となりました。ブラジル出身の

Liさんはデザートに「フラン（日本のプリン）」を作ってくださいました。ココナッツが効いてそのおいしいこと!!!

8日からは、今回も京都の日本語学校へ行かれました。学校が終わると「京都の会員 Ay さんに会



う」と言われました。「Ay さん？」私は思い出せなく、Li さんに再び聞くと「S.A さん」と言われました。「懐かしい名前！！」京都の北部に住んでられる素敵な方です。Ay さんと夕食を共にされて楽しそうに帰って来られました。

9日、私が圧迫骨折の後多くを歩くことができないので、朝食前にはおひとりで伏見稲荷神社に行かれました。「どこまで行ったの？」と聞くと「山頂まで」とのこと、奥の院を過ぎると道がややこしいので「迷わなかった？」と聞くと、「道順が書いてあるから」と答えが返ってきました。」日本語の道標で山頂まで行けるとは大したものです。旅行も終盤なのでドイツのご家族を恋しがっていられました。今日から Wa さん宅で、Wa さんが迎えに来て下さいました。

Li さん、次はご家族にも休暇を工面して取ってもらってぜひご家族でおいでくださいね。今から再会を楽しみにしています。

### 知的で楽しく素敵な Li

京都市 W.H

コロナ禍で桜の時期での来日を断念などを経て、再び Li に会える喜びは格別でした。9日の朝数年ぶりの再会にワクワクしながら Hi さん宅に車で迎えに行きました。

Li の毎日は、帰国する12日まで午前中3時間は日本語学校で日本語のお勉強。そして私との時間は、厳しい英語の先生。「In English」にドギマギしながらも英会話スキルアップのための悪戦苦闘の時間でした。

9日は月2回の仲間との麻雀の日、なかなか予約の取れない近所の手織り寿司のお店で Li を交え歓迎ランチタイム。仲間にも Li の語学力、行動力は刺激になったみたいで、大いに盛り上がりました。

私達が麻雀をしている間も日本語学校の宿題に勤しんでいました。その後私達お勤めの京都観光に出かけて行きました。

10日は清水寺に2人で出かけました。予想通りコロナ禍前の人出に戻っていました。Li は残り少ない時間を無駄にしたくないという意気込みが感じられ、そのあと1人で高台寺に向かいました。

11日、私が京都国際会館でボランティアをしている日本語クラスに参加、前回よりもかなりの上達が見られる日本語でいっぱいおしゃべりができたみたいです。夜は我が家での最後の晚餐、そしてその後 Li 自慢の情熱のダンス、サルサやサンバを2人で踊りまくりました。さすがブラジル生まれの Li カッコいい！

12日、関空まで見送りたいという Su さんと共に居酒屋で日本での最後の夕食、別れを惜しみつつ楽しみました。

知的で楽しく素敵な Li が大好きです。「ドイツに来てね」という言葉に私の気持ちはドイツに飛んでいました。近い将来ぜひ会いに行きたいと思っています。



### 3. その他のトラベラー受け入れ報告

#### イタリアからこんにちは

京都市 H.T

近畿支部のOtさんの紹介で、イタリアのサーバストラベラー、Lu. Loさんからメールが来ました。彼女は京都ではホテルに泊まられているので、ホテルからそんなに遠くないお寿司屋さんで2月13日にお会いしました。お寿司屋さんではカウンターに座り、彼女は興味深げに握り寿司を作っているのを見ました。私たちも握り寿司を注文しましたが、彼女はお箸がうまく使えず四苦八苦、「あー、そうか」と気づいて、フォーク、スプーンを持ってきて貰うと、なんとか上手に食べて昼食を楽しむことが出来ました。私は昼食後、日本庭園もある近くの梅小路公園を案内しようと思っていましたが、彼女は既に午前中に見てきたとのこと、バスのOne Day Free Ticketを持っていて、昼からは植物園に行こうと思っているとのことでした。聞くと毎日このバスチケットを買って上手に京都を観光されています。彼女は退職した数学の教師、アフリカで仕事をされていたこともあり、又多くの国でのサーバス旅行の経験もあり、とても旅に慣れていられて、一人旅を楽しむのに何も問題はないという感じでした。私にもイタリーへどうぞとってくださいました。彼女は魅力的な人で、以前の私だったら直ぐ「行こう」と思っていたでしょうが、今は長いコロナ禍でサーバス旅行以外にも充実した過ごし方が身につけていて、改めて「今はサーバス旅行に直ぐ飛びつく自分ではない」ことを感じました。



#### ディホストをしました

堺市 O.N

Lo. Luさんを2月14日に案内しました。5,6年前に我が家にサーバスステイした友人からの直接の紹介でした。1人旅で東京に1週間、京都に1週間のホテルを予約していたのでサーバスステイはせずに1日だけ大阪城周辺を案内してその後彼女は京都に帰りました。現役中高校数学教師としてアフリカのサン・トメに赴任してその地が気に入り家を買って現在は引退して居住地のローマとサン・トメを行き来しているそうです。



案内した日は風が強くとても寒い日で梅は五分咲きほどでした。大阪城の天守閣から市内を一望したあと大阪名物のお好み焼きを食べて暖まりました。

## Al と Pe を迎えて

久御山町 A.K

最初、夫婦別姓の二人が来るのかと思っていました。でも二人の住所が、ノースカロライナとワシントン DC で違っていました。お友達なので、部屋を別にして欲しいといわれました。

2月18日の午後に二人で我が家に来られました。サンフランシスコからの飛行機では日本人は見かけなかったそうです。二人は、3か月間学生たちが船でクルージングしながら各国の港に寄って学習するプログラムに参加した時に



出会ったそうです。Al は地理学、Pe は心理学を教えているそうです。モンゴルに行ったことがあるか？と聞かれ、モンゴルサーバス会長の Hi さんと Hi さんの息子の Un 君の話が出ました。Un は私たちのアルバムでは子どもだったのですが、今は大きくなっているそうです。お互いの手袋を見せ合いながら、「これモンゴル製の手袋！」と笑い合いました。

19日は、一緒に近くの<sup>まぐり</sup>雙栗神社へ行きました。「祈年祭」と「巫女舞」を見学しました。「祈年祭」は、笙の音が響く中で、厳かに神様にお供えをし、五穀豊穡の祈りを女性神職の奉仕で行われました。「巫女舞」は、昨年より4人の巫女たちが練習を重ね、浦安の舞を奉納していました。最後にお饅頭をいただきました。二人は、観光ではなく地元の祭礼に参加できたことがとても良かったと話してくれました。地元の人たちも熱心に見ていた彼らに声をかけてくださいました。わざわざ特別に古い錠前を開けていただき、修復が終わって美しい極彩色に塗りなおされたばかりの神社の本殿に入れていただきました。その後、彼らはバスで宇治散策に出かけました。平等院鳳凰堂に行くといって10円玉の裏を見せてくれました。歴史ある宇治上神社も勧めました。

20日は、伏見稻荷大社と東福寺へ行っていました。夜はお友達を誘って一緒に夕食を食べました。自己紹介をしながら、それぞれ家庭の話をしたり、ふたりが世界中を旅している話を聞いたりしました。ハイキングとトレッキングが趣味でノルウェー、ヒマラヤ等写真を見せてもらいました。明日は、高野山に一泊して、四国へ向かうスケジュールを聞きました。Pe は3月には息子さん家族と我が家に来てくださる約束をしました。

## ミラクルピサンカ

京都市 H.T

昨年の秋、我が家の近くのお寺の行事「筆供養」を An、Su さん、Wa さんが見に来られました。その時 An が「次はピサンカの作り方を教えてあげる」と言われました。キリスト教ではイースターの日に合わせて卵の殻で飾りを作りますが、ウクライナのピサンカはお守りです。私たちは「出来るかなあ」と言いながらも「作りたあ〜い」でした。An は月～金曜日は勤務があり、土～日曜日は三味線と日本舞



踊のお稽古でとても忙しく、フリーは祝日のみです。カレンダーを見ると3月21日は祝日、お雛さんも飾っているし、日本文化大好きなAnも見てくれるかなと思ってその日に決めました。

お昼を楽しんでということで、皆さんお手製のお料理を持ってきて下さいました。私も春の味覚を楽しんで貰おうと、近くの土手で土筆を摘んで夫が袴を掃除して、卵とじや天ぶらを作りました。皆でお昼を楽しんだ後、今日のメインのピサンカ作り。Anは机一杯に新聞紙を広げて家から持参された道具を出されました。何とたくさんの道具！その大部分はウクライナからの物で、初めて見る材料ばかりです。「持ってくるのも大変だったでしょう。」と私たちは恐縮しながら、Anに教えて貰って作るのですが、中々言われたようには出来ません。Suさんは「これはお父さんに見せられないわ」の連発でした。でも最終場面、今まで特性の蠟で描いたり染料で染めたりした卵を少し火にかざして蠟を溶かすや、「えっ！」と感激するような卵に変身したピサンカが出て来ました。全くミラクルです。皆大満足、Anは根気よく和やかに”It’s my pleasure”と応じてくれました。ほんとに私たちにとってHappy Timeでした。

Anありがとう。又したい  
なあ！！



## 久しぶりのトラベラー

●A1 R. Mi 男性 オーストラリア 4/6~4/8 2泊

●Lo H. Co 男性 オランダ 4/11~4/13 2泊

関空から直接電車で和歌山市の駅まで来られて出迎えました。

2組とも和歌山での予定を特に立てていらっしやらなかったなので、2日目は車で高野山に案内しました。余り期待されていなかったようでしたが、奥の院への参道を歩きながら仏教の世界を少しだけ感じられた気がします。

3日目は出発までの時間を利用して、歩いて10分程の漁港や紀州天満宮へ行きました。

オーストラリア人のA1はダーウィン在住の退職者。現役だった頃の写真や、家の庭に遊びに来る鷺のような大きな鳥に餌付けしている写真を見ながら話をしました。

和歌山市 0. I



オランダ人の Lo はアムステルダム近くの小さな街に住んでおられる退職者。生物の研究者で日本に来るのは 14 回目だと言われただけあって、日本語も少し話され何よりもお箸を大変上手に使って食事をされました。一緒に来られた娘さんが食事をととても楽しんでくださいました。素材や盛り付けに興味を持ち、臭いを嗅いだり味を確認したりして、色々と質問されたのが楽しかったです。お茶漬けに付けたツワブキの佃煮を食べた後、散歩でツワブキを見つけました。身振りでも説明して臭いを嗅いだ時に、2人で目を合わせて納得したり。

コロナの期間が長く、久しぶりにしかも立て続けに来られた旅行者でした。英会話が出来ないのでもいつもドキドキして迎えますが、来られてしまえばいつも楽しい刺激を頂きます。  
(二人で写っている方が A1 です)



## 4. 講演会参加報告

### DVD「沖縄、再び戦場へ」を見ました

京都市 H.T

映画監督、三上智恵さんが 2024 年劇場公開にむけてドキュメンタリー映画『沖縄、再び戦場(いくさば)へ(仮)』を製作されています。しかし、刻々と変わっていく沖縄の予断を許さない状況と危機感を全国の方たちに今すぐ共有して欲しいと、新作映画のために撮影された映像の一部から、45 分ほどのスピノフ作品を作られ、その上映会が京都であったので、大津の Wa さん、Su さん、私で見に行きました。



各地で行われる抗議集会



牛歩戦術でトラックの侵入を阻止

彼女がこの映画を作ろうと思われたのは、昨年末政府が安保 3 文書を閣議決定して、日本が敵基地攻撃可能な軍事国家になり、最悪の場合は報復攻撃で南西諸島が戦場になる可能性があることです。

沖縄・南西諸島の島々では、新たな自衛隊基地建設、基地の地下化、ミサイルの配備、弾薬庫の大増設、空港と港湾の軍事化等が急ピッチで進んでいます。

ドキュメンタリー映画『沖縄、再び戦場(いくさば)へ(仮)』

では 2017 年～2023 年の戦争に向かって突き進む怒涛の日々が描かれることとなりますが、映画館での公開は早くても 2024 年の春以降になり、映画の完成を待つ間にも、各地でスピノフ映像を見て戦争に向かう流れを止める人が増えて、発言・行動をして欲しいと強く望まれています。

スピノフ映像には三上監督が 2019 年～2023 年に撮影された沖縄の姿が映し出されていました。宮古島に陸上自衛隊駐屯地が完成、宮古自衛隊の隊旗授与式、宮古島の保良地区に建設予定の弾薬庫についての説明会開催とその強行工事反対のアピール、弾薬等を乗せたトラックの侵入を阻止するため、道一杯に広がって牛歩で沖縄のクイチャーを踊っている人々、完成した保良弾薬庫、各地で行われる日米合同軍事演習「キンソード」、自衛隊車両が陸揚げされるうるま市中城湾港、ミサイルの飛来を想定した避難訓練等々です。最後は多くの人々が参加した「島々を戦場にすな！緊急集会」の力強い場面、そこでは「争うよりも愛しなさい」のメッセージが輝いていました。

「私たちは生まれ育った沖縄を愛し、平和に暮らしたいと思っているだけなのです」と言われながら、そうならない現実に抗議集会を開いたり、実行当事者に詰め寄って抗議したり、警察官にごぼう抜きのように排除されながら道路に寝転んで必死に車の進入を阻止したり、牛歩で沖縄のおどり「クイチャー」を踊ってトラックの侵入を阻止したり、考えつく限りの抵抗を続ける人たちの姿を見て、私も出来る事を少しでも果たさねばと思って、より多くの人に知っていただきたいと書いています。



道路に寝転んで車の進入を阻止

最後に 2023 年 3 月 30 日に沖縄県議会が賛成多数で可決した「沖縄を再び戦場にしないよう日本政府に対し対話と外交による平和構築の積極的な取り組みを求める意見書」で要望されている以下のことが実現できる事を切に望んでいます。

1. アジア太平洋地域の緊張を高め、沖縄が再び戦場になることにつながる南西地域へのミサイル配備など軍事力による抑止ではなく、外交と対話による平和の構築に積極的な役割を果たすこと。
2. 日中両国において確認された諸原則を遵守し、両国間の友好関係を発展させ、平和的に問題を解決すること。

## 5. お知らせとお願い

### 支部長

\* 5 月 14 日（日）予備日 5 月 20 日（土）で予定していたびわ湖パレイ&琵琶湖テラスお楽しみ例会は雨天のため順延・中止にしました。

\* 国際サーバスが 9 月 21 日の国連「国際平和デー」に取り組みをと進めているので、毎年その前後に平和の例会をしています。今年は 9 月 9 日（土）午前 10 時から、会員の紹介で沖縄と Online で結んで沖縄の現状をお聞きしたり、話し合いの例会をする予定です。ご予約を宜しく申し上げます。

\* 住所、電話、メールアドレス等変更がありましたら支部長までお知らせください。

...